

# 長泉町の商業



下土狩駅前通り商店街



大いちょう通り沿い

## ○ 概要

長泉町の商業は、飲食料品の小売業を中心とした小規模な店舗が大半を占めていますが、近年、モータリゼーションの進展や消費者ニーズの多様化、近隣市町や町内における郊外型大型店の相次ぐ進出などにより、町の商業を取り巻く環境は大きく変化しています。

平成19年の商業統計調査によると、町内の年間販売額は959億円、従業者数は2,673人、事業所数（卸売・小売）は348店となっており、10年前の平成9年と比べると、年間販売額は13.1%減、従業者数は1.6%増、事業所数は6.5%減となっています。

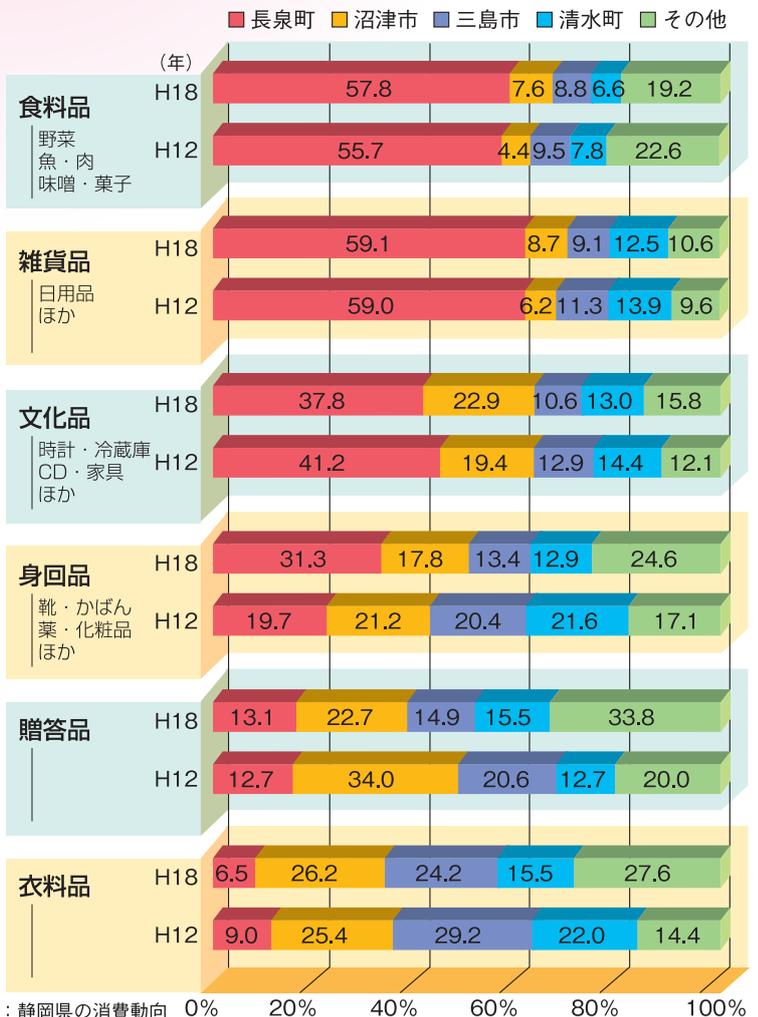
## ○ JR下土狩駅周辺の状況

下土狩駅前通り商店街を含む駅周辺は、身近でなじみのある商店として地域の人々の生活を支えてきましたが、近年、消費者の価値観の多様化や町内外への大型小売店舗の出店などで商業環境が大きく変化するとともに、集客力が落ちてきており、商店が住宅化した空き店舗が目立つようになっています。

そのため、消費者のニーズを常にとらえ、大型店にはないこだわりや独自性を打ち出した商品・サービスの販売をこころがけるとともに、町の顔となるようなハード・ソフト対策や経営者の資質向上、後継者の育成が急務となっています。



## 長泉町商工会地区の購買先(%)



## ○ 消費動向

平成12年および平成18年の「消費動向調査」の結果を比較すると、町内での雑貨品の購入に関しては横ばい、食料品・贈答品については微増となっています。大きく改善されたのは、身の回り品（薬・化粧品等）で、その背景としては、大型のフランチャイズドラッグストアの出店が、相次いだことが影響していると思われます。逆に悪化しているのは、文化品・衣料品で、その要因としては、増加している若い住民層に好まれるような商品や品揃えの多い店舗が少ないために消費者が町外に流出しているものと思われます。

また近年では、カタログ通販やネットショッピングの利用も多くなってきており、特に流行物については、そのような傾向が強く見受けられます。



長泉ショッピングセンター(大いちょう通り沿い)



ショッピングプラザ長泉(長泉中央通り沿い)



カインズホーム長泉店(国道246号沿い)



ジャンボスポーピアシラトリ長泉バイパス店  
(国道246号沿い)



ウェルディ長泉(国道246号沿い)



コープ桜づつみ店(高田上土狩線沿い)



マックスバリュ長泉町竹原店

## ○ 大規模小売店舗

大規模小売店舗の名称	店舗面積 (㎡)	開店(年)	主な小売店舗
長泉ショッピングセンター	2,404	H元	ヤオハン長泉店、Seria生活良品長泉店
ショッピングプラザ長泉	2,958	H 4	エスポット長泉店
カインズホーム長泉店	3,066	H 5	カインズホーム長泉店
ジャンボスポーピアシラトリ長泉バイパス店	2,832	H 7	ジャンボスポーピアシラトリ長泉バイパス店
ウェルディ長泉	8,139	H11	トイザらス長泉店、ハックドラッグウェルディ長泉店
コープ桜づつみ店	1,415	H12	コープしずおか桜づつみ店
マックスバリュ長泉町竹原店	1,965	H21	マックスバリュ長泉町竹原店